



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第26号

令和3年2月1日発行
千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆夢をみる創造（想像）力◆

校長 北島 啓行

「大きくなったら何になりたい?」「別に」「じゃ、大きくなったら何になると思う?」「多分、会社員。だけど早く定年になりたいんだ」「どうして?」「だって何もしなくていいんだもん」

これは小学生の男の子と交わした会話ですが、その子は特別に変わった子でも、元気のない子でもありません。どこから見ても、普通に見える子供です。以下略

この文章は某雑誌の記事の一部ですが、子ども自身の意志とは関係のない負荷がかかっている現実の問題を抱きました。特に、「早く定年になりたい」「何もしなくて良い生活をしたい」と言うことは、切実すぎて、心に刺さるものがあります。多分、この子の生活は、いつも重荷を背負った感じなのかも知れません。自分の内面からうながされて何かに没頭するなどということとは、あまり縁のない生活を送っているのでしょう。だからこんなに年若いのに心が疲れて、夢も希望ももてなくなってしまうのではないかと思います。何も考えないでハシヤギまくるのが、私には子どもの本当の姿のように思えてなりません。もちろん、外から与えられた課題をこなしていくことも大切です。しかし、どんなお利口さんになっても、生命力が枯渇していたのではどうにもなりません。

本校の2年生は後期、キャリア教育の一環で職業調べを行い、廊下に掲示物を作成しました。そこには、「〇〇のような□□になりたい。」という見出しがありました。□□は職業名ですが、〇〇にはその職業を形容する言葉が入ります。例えば、「人の役に立つ看護師」「来た人を笑顔にする料理人」「子どもに好かれる保育士」というもので、その下に「そのために、今必要なことは」ということが書かれ、グランドデザインされています。3年生は入試対策で、面接試験の練習をした際、多くの生徒が将来の希望する職業をしっかりと答えることができていました。また、1年生は冬季休業中の宿題の職業調べ報告書が、現在廊下に掲示してあります。このことから、本校の生徒は上記のような小学生はいないと信じていいものです。

「夢見る力」は、生きる力の要素と言いますが、変化の激しいこれからの社会を生きるには、創造力を備えた人材の育成が必要であるとも言われています。この創造力には、前提として想像力が不可欠です。すなわち、想像力(夢見る力)がないと創造もできないこととなります。また、夢だけを語るならば、それはロマンの世界、文学です。しかし、子どもは本能的に夢の実現を目指し創造するものです。そこで、まず子どもたちに夢のような夢(壮大な夢)を見る力をつけてあげたいと考えます。ぜひ、お子さんに壮大な夢を語る場を提供し、ファンタジーやロマンから創造への一步を築いてあげていただければ幸いです。

◆校内作品展の様子◆

先にご案内した通り、今年度は千葉県美術館での千葉市小・中・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会が開催されなかったため、本校出品予定作品を昇降口に掲示しました。



☆お知らせ☆

◎ 卒業証書授与式について（再度のご連絡）

令和3年3月12日（金）に予定されています卒業証書授与式ですが、千葉県教育委員会より実施に係る要綱より、以下のようにさせていただきます。詳細については、後日配布する手紙にてご確認ください。

- 参加者：卒業生、保護者（各家庭1名）、学校職員（ご来賓の参加はありません）
- 開式：9:30（保護者受付 8:40～） ○式の時間：およそ60分程度

※上記に伴い、卒業証書授与式当日、1、2年生は登校日とせず、3年生のみの登校となります。

◎ 新型コロナウイルス感染への対策について（お願い）

新型コロナウイルス感染やインフルエンザも含め、感染症拡大防止対策のため、生徒の健康管理について朝の健康観察を十分に行い、体調が少しでも思わしくない場合には、無理に登校することのないよう、ご協力をお願いします。また、急な体調不良等でご家庭に連絡をさせていただくこともありますので、連絡先の変更等がある場合は、担任までお知らせください。

◎ 転居等に関して（お願い）

学校では、来年度に向けての準備を始めております。年度末に転居等で転校をする場合は、早めに担任までご連絡ください。